

門真市「チーム学校」支援体制充実事業

～子どもに寄り添い、未来を生き抜く力をはぐくむ教育の推進～

令和6年度再拡充

◆いじめ・不登校・家庭環境等、子どもを取り巻く課題が多様化・複雑化する中で、学校が誰一人取り残すことなく子どもを見守り、社会的自立に向けた成長を支えていくためには教職員の資質向上や各種の未然防止授業に加え、「チーム学校」として様々な専門家や関係機関と連携した支援や取組が必要とされている。

教職員研修の充実

年度当初にいじめ予防に関する校内研修や、SCによるSOSの受け取り方研修を実施し、教職員が共通認識を持って取り組みます。
さらに、市として自殺予防の専門家や、SSWスーパーバイザー、ネット対応アドバイザーなど、様々な専門家による教職員研修を更に充実し、教職員の資質向上に努めます。

「チーム学校」



教育支援ルーム「かがやき」

様々な原因で登校できない子どもの居場所です。個別の自学自習支援や集団活動の他、個々の実態に合わせた相談・指導を行うことで、社会的自立に向けた成長を支援します。

スクリーニング



スクリーニングシートで全ての子どものアンケート結果と、教職員の見立てを一覧化します。
教職員・SSW・SCの3重チェックとスクリーニング会議を行うことで、誰一人取り残さない見守り体制を確立するとともに、子どもたちの変化やSOSに気づいて、早期に適切な支援につなぎます。

教職員による支援と見守り

弁護士によるいじめ予防授業

子どもの権利や法教育に精通する弁護士（スクールロイヤー等）が、外部講師として小・中学生にいじめ予防授業を実施します。



専門家・関係機関による 多面的・重層的支援

門真市子ども悩み相談サポートチーム

SSWをさらに拡充して、中学校区に1名配置。
カウンセラーやSSWに加えてスクールロイヤー（弁護士）や精神科医が構成員に。子ども、保護者、学校を支援する専門家による多職種連携を充実させます。



発達支持的生徒指導の推進

sosの出し方教育・命の教育の充実

子どもの発達段階に合わせて「sosの出し方教育」「命の教育」を実施。子どもが自分自身の危機に気づき、適切な援助希求行動（sosの発信）ができるよう、ロールプレイ等を通して学ぶ機会を充実させます。

SNSトラブル予防授業



SNS上のトラブルやスマホアプリの危険性について、専門家による子ども向けの授業や保護者向けの講座を実施。
ネットいじめや課金・出会い系トラブル等を防ぎ、スマホやSNSとの正しい付き合い方を学びます。

子ども・保護者向け 相談窓口の充実

子どもの居場所・学びの場や不登校の相談に関するリーフレットの配付

誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策「COCOLOプラン」の趣旨を踏まえ、不登校についての相談窓口や支援の場、放課後等も含めた様々な学びの場について、すべての保護者に周知します。

門真市こどもオンライン相談

子どもたちが、GIGAスクール端末やLINEからインターネット上の相談専用システムに接続。心理士等の専門相談員にチャット機能を用いて、様々な悩みを相談できます。



スクールアドバイザー



教育相談等の窓口として保護者・市民からの多様な相談を受けるとともに、学校内外の学びの場や相談機関を紹介します。
指導主事と連携しながら、学校の生徒指導上の課題解決や学力向上のための支援・助言等を行います。